

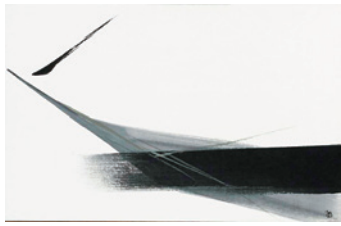
篠田桃紅美術空間からの お知らせ

企画展 「夏休み子ども企画」

想像してみよう。習字の筆に墨をつけて紙に線をかき。あなたならどんな線をかきますか？

桃紅さんは、自分の好きな「線」をくみあわせて絵をかいています。左の絵もその一つです。絵の中にはいくつかの線がとうじょうしています。細い線、先がとがっている線、濃い黒の太い線…。それぞれ、どうやって

えがいているんでしょう。桃紅さんのアトリエ(絵をかくへや)には、太い筆、細い筆、毛の長い筆、はげなどたくさんあります。そのかず約200本！桃紅さんは、たくさん筆をつかいわけ、墨の濃さ



クイズ

桃紅さんがいつも使っている硯の大きさはどれくらいでしょう？

- 1 たて15センチ、よこ10センチ
 - 2 たて65センチ、よこ45センチ
 - 3 たて90センチ、よこ60センチ
- …こたえは美術館で！

- 会期… 9月26日(日)まで
- 入館料… 高校生以上300円、中学生以下無料
- 休館日… 月曜日(休日を除く)および祝日の翌日(土・日・休日を除く)
- 開館時間… 午前9時～午後4時30分
- 関連イベント
エンジョイ！こどもアートツアー
9月11日(土)午後1時30分～2時30分
(9月4日までに申し込み)
- 照会先… 篠田桃紅美術空間 ☎23-7756

ようこそ！桃紅さんのせかいへ②

や、かくスピードもかえていろんな線をえがいています。その線と線をかきあわせることで、いろんなかたちをつくっています。

あなたには何のかたちに見えますか？

篠田桃紅美術空間ではいま、クイズにこたえながらすすむワークシートや、ろうけつ染作品のできたをたいけんできるコーナーなど、桃紅さんの作品の新しい見かたを発見できるいろいろなお楽しみをまっています。この夏さいごの思い出づくりに、ぜひ美術館へあそびにきてください。

ひとひと 女と男 ともに自分らしく生きよう vol.72

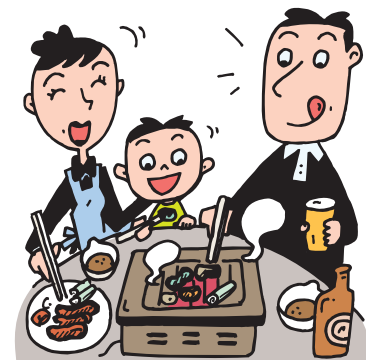
「男性の家事・育児参加と夫婦のコミュニケーション」 男女共同参画社会

現在、仕事も子育てもどちらも充実したい、どちらも楽しみたいというそんな価値観を持った父親が増えています。従来のように明けても暮れても仕事ですべてで、家事・育児などは妻に任せっぱなしという考えは姿を消しつつあります。

ある自治体の調査によると、夫婦の一日の会話時間と男性の家事・育児参加との間に相関関係があります。一日の会話時間が短いほど妻からの夫にもっとやってほしい率が高くなっています。逆に会話時間が長い夫婦の場合は妻からの要望する率が低くなっています。ちなみに、会話時間が30分未満の場合は妻からの要望する率は86.4%あり、会話時間が4～5時間の場合は58.5%と極端に低くなっています。

また、男性が家事・子育て・介護・地域活動へ参加するために必要なこととして、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が第1位で60%の高い率を示しています。義務や義理、また半強制的に男性が関わるのではなく、良好な人間関係の中で自然発生的に参加できる、参加したくなる環境・土壌づくりが必要となってきます。

夫婦、家族がお互いの体温を感じるほどの距離で会話をしましょう。



さんかくサポーター<J>
<照会先> さんかくサポーター事務局 (まちづくり推進課内) ☎23-6831